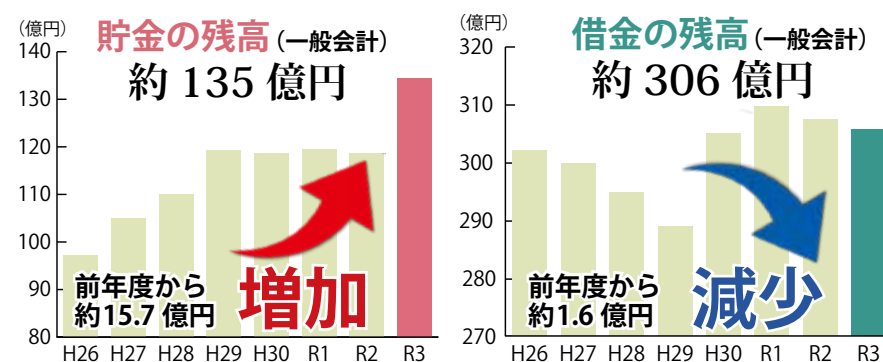




■一般会計の財政状況

一般会計の貯金残高は、2年連続の黒字決算で貯金の取り崩しがなかったことから、前年度から増加しています。借金残高は微減したものの、新庁舎建設などの大型事業実施により、今後は増加が見込まれるため、各事業の実施時期を平準化するなどして、借金の抑制に努める必要があります。



■特別会計別の決算額

区 分	歳 入 (A)	歳 出 (B)	実質収支額 (A) - (B)
国民健康保険	72 億 801 万 7176 円	70 億 1162 万 4738 円	1 億 9639 万 2438 円
後期高齢者医療	9 億 1127 万 2765 円	9 億 1058 万 9040 円	68 万 3725 円
介護保険	63 億 2456 万 324 円	61 億 1678 万 2810 円	2 億 777 万 7514 円
国民宿舎事業費	5 億 3778 万 4623 円	5 億 3777 万 9649 円	4974 円

■公営企業会計別の決算額

区 分		収 入	支 出
水道事業	収益の収支	13 億 1688 万 53 円	11 億 1421 万 3995 円
	資本の収支	8 億 4239 万 3428 円	11 億 5200 万 1149 円
工業用水道事業	収益の収支	3990 万 3321 円	2138 万 5016 円
	資本の収支	25 万 5310 円	644 万 1589 円
下水道事業	収益の収支	23 億 5789 万 9464 円	17 億 3452 万 4729 円
	資本の収支	12 億 8091 万 705 円	13 億 9204 万 1098 円

■一般会計の決算額



令和3年度の一般会計と4つの特別会計、3つの公営企業会計の決算がまとまり、いずれも黒字決算となりました。

福祉や教育、土木、消防など、行政運営の基本的な経費を計上している一般会計では、歳入が325億8688万円で、歳出は304億5202万円でした。歳入から歳出を引いた額は21億3486万円。ここから翌年度に繰り越された一部の事業に要する財源2億5848万円を差し引いた18億7638万円が実質の黒字額です。

令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市独自のさまざまな施策を進めました。経済対策として、市内登録店で使えるプレミ

アム付商品券の販売などを実施。新型コロナウイルスワクチンについては、希望する人が速やかに接種を受けられる体制を整備しました。また、西日本豪雨災害からの復旧・復興事業や登園中の親子らが被害者となった昨年11月の交通事故を受けた通学路の整備など、市民生活を守るための事業に取り組みました。

今後、公共施設の維持管理費や社会保障関連経費などの増大に加えて、市役所新庁舎建設など大型事業の実施や豪雨災害復旧・復興事業の償還開始に伴う経費が見込まれます。引き続き事業の見直しや歳入確保に取り組み、健全財政の推進に努めます。

※1万円未満の額の記載がないものについては、四捨五入しています